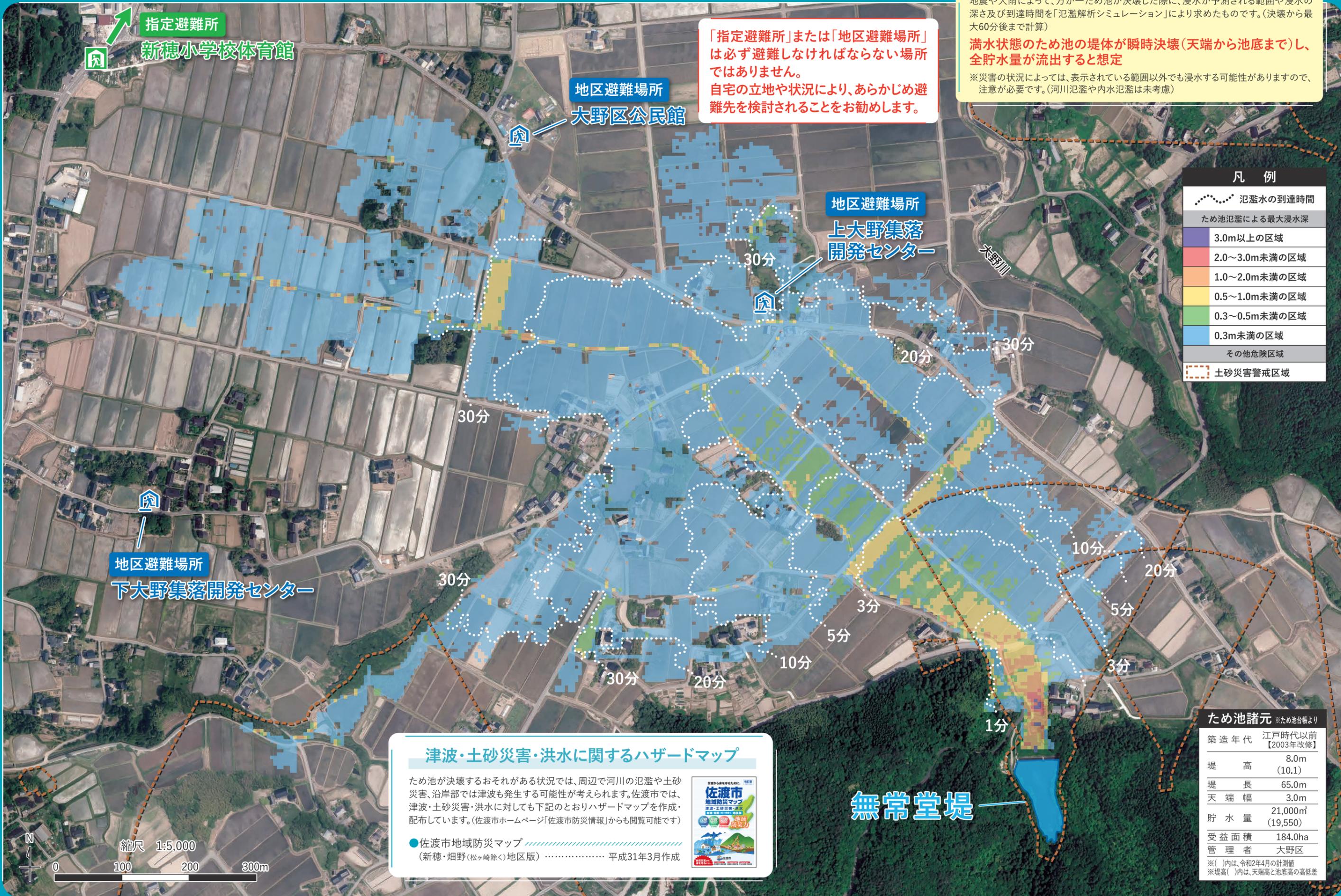


# 無常堂堤 ハザードマップ 新穂地区 新穂大野

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。(決壊から最大60分後まで計算)  
**満水状態のため池の堤体が瞬時決壊(天端から池底まで)し、全貯水量が流出すると想定**  
 ※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。(河川氾濫や内水氾濫は未考慮)



凡例

.....	氾濫水の到達時間
■	ため池氾濫による最大浸水深
■	3.0m以上の区域
■	2.0~3.0m未満の区域
■	1.0~2.0m未満の区域
■	0.5~1.0m未満の区域
■	0.3~0.5m未満の区域
■	0.3m未満の区域
■	その他危険区域
.....	土砂災害警戒区域

「指定避難所」または「地区避難場所」は必ず避難しなければならない場所ではありません。  
 自宅の立地や状況により、あらかじめ避難先を検討されることをお勧めします。

### 津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。(佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です)

● 佐渡市地域防災マップ (新穂・畑野(松ヶ崎除く)地区版) ..... 平成31年3月作成

ため池諸元 ※ため池台帳より

築造年代	江戸時代以前 【2003年改修】
堤高	8.0m (10.1)
堤長	65.0m
天端幅	3.0m
貯水量	21,000m <sup>3</sup> (19,550)
受益面積	184.0ha
管理者	大野区

※( )内は、令和2年4月の計測値  
 ※堤高( )内は、天端高と池底高の高低差

